

学年:	4年生	Stage:	StageIV	コード:	K4104	単位:	4.4
モジュール名	総合歯科学 I - C			科目担当責任者	吉田 彩佳・浅里 仁		
モジュール名(英字)	Review of Dentistry I - C			コース名	KPS 神歯大固有科目系		
一般目標(GIO)	臨床実習に向けて、1年から4年に修得してきた知識・技能・態度を再度確認して、実際に知識をアウトプットできるように、技能・態度を実際に行うことができること。						
ユニット:一般目標	1. 歯科医師として求められる基本的な資質・能力を修得する。 プロフェッショナリズム、医学知識と問題対応能力、診療技能と患者ケア、コミュニケーション能力、チーム医療の実践、医療の質と安全管理、社会における医療の実践、科学的探究、生涯にわたって共に学ぶ姿勢などについて学ぶ。 2. 社会と歯学について理解する。 歯科医療に関わる社会的側面を学ぶ。 3. 生命科学について理解する。 生命科学の基本的知識と人体の構造と機能、感染と免疫、病因と病態、生体と薬物を学ぶ。 4. 歯科生体材料と歯科材料・器械について理解する。 歯科材料に使用される素材と器械・器具および成形法と成形用材料を学ぶ。 5. 臨床歯学の知識について理解する。 臨床実習前に習得しておくべき知識を学ぶ。 6. 臨床歯学の技能・態度を修得する。 臨床実習前に習得しておくべき態度、診察技能、診断と治療を学ぶ。						

### 教育目標

ディプロマポリシー	DPI-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP1,CP2,CP3
	a / a / a	b / b / a	a / a / a		
a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目					

教科書等 記号 / 書名 / 著者など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ CBT PASS 基礎編・臨床編/ 麻布デンタルアカデミー/ 自己学習で使用  
 参 1/ 歯学教育モデル・コア・カリキュラム-教育内容ガイドライン- 最新版/ 文部科学省/ [https://www.mext.go.jp/content/20230428-mxt\\_igaku-000029086\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230428-mxt_igaku-000029086_1.pdf)  
 参 2/ 歯学系OSCE・PX公開資料/ 公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構/ <https://www.cato.or.jp/cbt/dentistry-osce/index.html>  
 配 1/ 講義担当者作成配布資料/ 講義担当者/ ヨリソルよりPDFをダウンロード  
 HP 1/ESS歯学【モバイル版】/エスエイティーティー株式会社/ <https://satt-ess.com/dt/login/130/>

### 評価方法

出 欠 席	「2026年度神奈川歯科大学履修ガイド」に準じが、補完に関しては以下の通りとする。 1. 講義欠席は、理由の有無を問わずオンラインでの補完授業を受講する。 受講完了後、欠席日の「ESS問題による小テスト(満点合格必須)」の完了を持って補完完了とする。(1コマ欠席、全日欠席どちらも同じテスト) 2. 実習欠席は補完授業は行わない。						
モジュール試験(%)	60	1. 10月実施のモジュール試験①(配点:10%) 2. 12月実施のモジュール試験②(配点:20%) 3. 1月実施のモジュール試験③(配点:30%) 上記の結果を合計し、100%換算して最終評価とする。					
アクティビティ(%)	40	実習評価(30%)、実力試験(その他として:4%)、ESS歯学学修活動評価(その他として:6%)とし、100%換算して最終評価とする。 ESSによる学修活動評価は、シラバスに記載されたモデル・コア・カリキュラムに沿った問題をESS上で毎週出題し、各週とも翌週月曜日までの実施状況をもって評価する。 I-A期間は最大2%、I-B期間は最大3%、I-C期間は最大1%を上限とし、各期間の達成度に応じて配点する(未実施の場合は0%とする)。 取り組みは、アプリの学修履歴から自動取得したデータで確認する。ただし、システムトラブルによる記録漏れがあった場合は、スクリーンショット等の証拠提出により個別対応を行う。 なお、不正アクセスや代理ログインが発覚した場合は、アプリ学修評価を期間関係なく0%とする。					
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
			30				10
再試験の評価方法	モジュール試験①(10%)、モジュール試験②(20%)、モジュール試験③(30%)の結果を上記比率で合算し、100%換算した総合点が60.0%未満の場合は再試験の対象とする。再試験は、2026年2月上旬に実施予定。						
フィードバックについて	ステージ終了後に、オンライン講義用LSM上にフィードバックを公開します。						
アクティブラーニング							

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_001_12/1_1限	2026/12/01	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(全身解剖)					
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 中枢神経と末梢神経について説明できる。</li> <li>2) 神経細胞とその特性について説明できる。</li> <li>3) 脳の区分と構造機能について説明できる。</li> <li>4) 灰白質と白質の構造と機能について説明できる。</li> <li>5) 髄膜の構造について説明できる。</li> <li>6) 髄液の生成と吸収部位について説明できる。</li> <li>7) 脊髄の構造について説明できる。</li> <li>8) 脳神経12対とその役割について説明できる。</li> <li>9) 脊髄神経と区分・分布領域について説明できる。</li> <li>10) 頸神経叢の皮枝と筋枝について説明できる。</li> <li>11) 上肢と下肢を支配する神経について説明できる。</li> </ol>					
キーワード	<p>中枢神経(脳・脊髄)、末梢神経(脳神経12対・脊髄神経31対・自律神経系)、神経細胞(軸索・希状突起・髄鞘)、有髄線維、無髄線維、髄膜(硬膜・くも膜・軟膜)、髄液(脳室脈絡叢・くも膜顆粒)、大脳(終脳・間脳)、脳幹(中脳・橋・延髄)、小脳、海馬、大脳辺縁系、大脳基底核、体性運動野、体性感覚野、聴覚野、視覚野、味覚野、運動性言語中枢、感覚性言語中枢、代表的な伝導路(外側脊髄視床路・後索内側毛帯路・外側皮質脊髄路・皮質延髄路・聴覚伝導路・視覚伝導路)、錐体外路系障害、頸神経叢(筋枝・頸神経ワナ/横隔神経、皮枝:大耳介神経・小後頭神経・頸横神経・鎖骨上神経)、腕神経叢(筋皮・正中・尺骨・橈骨・腋窩神経他)、腰神経叢(大腿神経他)、仙骨神経叢(坐骨神経他)</p>					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-1,A-3-1-5-2,A-3-1-5-3,A-3-1-5-4,A-3-2-5,A-3-2-6					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ク-d,総論Ⅱ-1-ク-a,総論Ⅱ-1-ク-b,総論Ⅱ-1-ク-c,総論Ⅱ-1-ク-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b,総論Ⅱ-4-ア,総論Ⅱ-4-キ-a,総論Ⅱ-4-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_002_12/1_2限	2026/12/01	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(全身解剖)					
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 中枢神経と末梢神経について説明できる。</li> <li>2) 神経細胞とその特性について説明できる。</li> <li>3) 脳の区分と構造機能について説明できる。</li> <li>4) 灰白質と白質の構造と機能について説明できる。</li> <li>5) 髄膜の構造について説明できる。</li> <li>6) 髄液の生成と吸収部位について説明できる。</li> <li>7) 脊髄の構造について説明できる。</li> <li>8) 脳神経12対とその役割について説明できる。</li> <li>9) 脊髄神経と区分・分布領域について説明できる。</li> <li>10) 頸神経叢の皮枝と筋枝について説明できる。</li> <li>11) 上肢と下肢を支配する神経について説明できる。</li> </ol>					
キーワード	<p>中枢神経(脳・脊髄)、末梢神経(脳神経12対・脊髄神経31対・自律神経系)、神経細胞(軸索・希状突起・髄鞘)、有髄線維、無髄線維、髄膜(硬膜・くも膜・軟膜)、髄液(脳室脈絡叢・くも膜顆粒)、大脳(終脳・間脳)、脳幹(中脳・橋・延髄)、小脳、海馬、大脳辺縁系、大脳基底核、体性運動野、体性感覚野、聴覚野、視覚野、味覚野、運動性言語中枢、感覚性言語中枢、代表的な伝導路(外側脊髄視床路・後索内側毛帯路・外側皮質脊髄路・皮質延髄路・聴覚伝導路・視覚伝導路)、錐体外路系障害、頸神経叢(筋枝・頸神経ワナ/横隔神経、皮枝:大耳介神経・小後頭神経・頸横神経・鎖骨上神経)、腕神経叢(筋皮・正中・尺骨・橈骨・腋窩神経他)、腰神経叢(大腿神経他)、仙骨神経叢(坐骨神経他)</p>					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-1,A-3-1-5-2,A-3-1-5-3,A-3-1-5-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ク-d,総論Ⅱ-1-ク-a,総論Ⅱ-1-ク-b,総論Ⅱ-1-ク-c,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b,総論Ⅱ-4-ア,総論Ⅱ-4-キ-a,総論Ⅱ-4-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

K4104_003_12/1_3限	2026/12/01	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(全身解剖)					
授業目標	1) 中枢神経と末梢神経について説明できる。 2) 神経細胞とその特性について説明できる。 3) 脳の区分と構造機能について説明できる。 4) 灰白質と白質の構造と機能について説明できる。 5) 髄膜の構造について説明できる。 6) 髄液の生成と吸収部位について説明できる。 7) 脊髄の構造について説明できる。 8) 脳神経12対とその役割について説明できる。 9) 脊髄神経と区分・分布領域について説明できる。 10) 頸神経叢の皮枝と筋枝について説明できる。 11) 上肢と下肢を支配する神経について説明できる。					
キーワード	中枢神経(脳・脊髄)、末梢神経(脳神経12対・脊髄神経31対・自律神経系)、神経細胞(軸索・希状突起・髄鞘)、有髄線維、無髄線維、髄膜(硬膜・くも膜・軟膜)、髄液(脳室脈絡叢・くも膜顆粒)、大脳(終脳・間脳)、脳幹(中脳・橋・延髄)、小脳、海馬、大脳辺縁系、大脳基底核、体性運動野、体性感覚野、聴覚野、視覚野、味覚野、運動性言語中枢、感覚性言語中枢、代表的な伝導路(外側脊髄視床路・後索内側毛帯路・外側皮質脊髄路・皮質延髄路・聴覚伝導路・視覚伝導路)、錐体外路系障害、頸神経叢(筋枝・頸神経ワナ/横隔神経、皮枝:大耳介神経・小後頭神経・頸横神経・鎖骨上神経)、腕神経叢(筋皮・正中・尺骨・橈骨・腋窩神経他)、腰神経叢(大腿神経他)、仙骨神経叢(坐骨神経他)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-1,A-3-1-5-2,A-3-1-5-3,A-3-1-5-4,A-3-2-6,A-3-2-7					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ク-d,総論Ⅱ-1-ク-a,総論Ⅱ-1-ク-b,総論Ⅱ-1-ク-c,総論Ⅱ-1-ク-e,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_004_12/1_4限	2026/12/01	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(全身解剖)					
授業目標	1) 循環器系について説明できる。 2) 消化器系の構成・構造と機能について説明できる。 3) 呼吸器系の構成・構造について説明できる。 4) 泌尿・生殖器系の構成・構造について説明できる。 5) 胸・腹部臓器の位置関係/頸部腹部上肢下肢の栄養血管系の走行について説明できる。					
キーワード	動脈・静脈(動脈/静脈壁構造)・リンパ系、心臓の構造(右心房・右心室・左心房・左心室、卵円窩)、胸腹部大動脈(上行大動脈・大動脈弓・下行大動脈・胸大動脈・腹大動脈)、総腸骨動脈(内/外腸骨動脈)、鎖骨下動脈(椎骨動脈他)、腋窩動脈、上腕動脈、前腕動脈(橈骨・尺骨)、総頸動脈、内頸動脈(前大脳・中大脳動脈他)、大脳動脈輪、外頸動脈(上甲状腺・舌・顔面・後耳介・後頭・浅側頭・顎動脈)大静脈(奇・半奇状動脈)、咽頭、胃、小腸(十二指腸・空腸・回腸)、大腸(直腸・結腸)、肝臓の構造(胆嚢・肝門索・肝門脈・解剖学的・機能的区分)、膵臓の構造、脾臓、腎臓、子宮、卵巣・精巣、膀胱、鼻腔、喉頭、肺、気管・気管支					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-1,A-3-1-4-2,A-3-1-4-6,A-3-2-5					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ウ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b,総論Ⅱ-4-ア,総論Ⅱ-4-キ-a,総論Ⅱ-4-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_005_12/2_1限	2026/12/02	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(組織)					
授業目標	1) 歯の硬組織の構造を説明できる。 2) 歯髄の構造を説明できる。					
キーワード	エナメル質、象牙質、歯髄					
担当	河田 亮					

学修範囲(事前事後学修)	事前:1,2年生講義内容 事後:講義内容
コアカリ(令和4年)	A-3-4-4,A-3-4-5
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-5-1-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_006_12/2_2限	2026/12/02	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(組織)					
授業目標	3) 歯周組織の構造を説明できる。					
キーワード	セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉					
担当	河田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前:1,2年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-4-7					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-5-1-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_007_12/2_3限	2026/12/02	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(組織)					
授業目標	4) 歯の発生を説明できる。					
キーワード	神経堤、歯胚、エナメル器、歯乳頭、歯小囊、ヘルトウイツヒ上皮鞘					
担当	河田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前:1,2年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-1,A-2-4-2,A-2-4-3,A-2-4-4,A-2-4-5,A-2-4-6,A-2-4-7,A-2-4-8					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-8-1-a,総論Ⅱ-8-1-b,総論Ⅱ-8-1-c,総論Ⅱ-8-1-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_008_12/2_4限	2026/12/02	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(組織)					
授業目標	5) 歯周組織の発生を説明できる。					
キーワード	神経堤、歯胚、エナメル器、歯乳頭、歯小囊、ヘルトウイツヒ上皮鞘					
担当	河田 亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前:1,2年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-1,A-2-4-2,A-2-4-3,A-2-4-4,A-2-4-5,A-2-4-6,A-2-4-7,A-2-4-8					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-8-1-a,総論Ⅱ-8-1-b,総論Ⅱ-8-1-c,総論Ⅱ-8-1-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_009_12/3_1限	2026/12/03	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(理工)					

授業目標	1) 歯科用ポーセレンの組成、成形法の特徴を説明できる。 2) 金属とポーセレンの接合を説明できる。 3) 歯冠用セラミックスの種類、組成、材料学的特徴を説明できる。 4) 歯科用金属の組成、用途を説明できる。 5) 金属材料の加工の方法と物性変化を説明できる。 6) 金属材料の熱処理法とその効果を説明できる。 7) 金属材料の接合方法の種類と特徴を説明できる。
キーワード	歯科用陶材、アルミナ陶材、築盛、コンデンス、焼成、収縮、陶材焼付用金属、金属焼付用陶材、熱膨張係数、金合金、銀合金、陶材焼付用金合金、鑄造収縮、添加元素、コバルトクロム合金、チタン合金
担当	二瓶 智太郎
学修範囲(事前事後学修)	まとめ冊子
コアカリ(令和4年)	B-2-1
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-6-ⅰ-a,総論Ⅶ-6-ⅰ-b,総論Ⅶ-6-ⅰ-d,総論Ⅶ-6-ⅰ-e,総論Ⅶ-6-ⅰ-f,総論Ⅶ-6-ⅰ-a,総論Ⅶ-6-ⅰ-b,総論Ⅶ-6-ⅰ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_010_12/3_2限	2026/12/03	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(理工)					
授業目標	1) 合着材、接着材の種類、組成、材料学的特徴を説明できる。 2) インプラント材料の種類、組成、材料学的特徴を説明できる。 3) 顎骨再建用材料および補填材の種類、組成、材料学的特徴を説明できる。					
キーワード	ガラスイオノマーセメント、ポリカルボキシレートセメント、接着性レジンセメント、酸化亜鉛ユージノールセメント、EBAセメント、被膜厚さ、溶解性、崩壊度、稠度、歯質接着性、歯髄刺激性、裏層、仮着、純チタン、チタン合金、ハイドロキシアパタイト、オッセオインテグレーション、ハイドロキシアパタイト、リン酸三カルシウム、チタン合金、コバルトクロム合金、ステンレス鋼					
担当	二瓶 智太郎					
学修範囲(事前事後学修)	まとめ冊子					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,B-2-6					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-11-ア,総論Ⅶ-11-イ,総論Ⅶ-11-ウ,総論Ⅶ-11-エ,総論Ⅶ-11-オ,総論Ⅶ-9-ア-a,総論Ⅶ-9-ア-b,総論Ⅶ-9-ア-c,総論Ⅶ-8-ア,総論Ⅶ-8-ⅰ-a,総論Ⅶ-8-ⅰ-b,総論Ⅶ-8-ⅰ-a,総論Ⅶ-8-ⅰ-b,総論Ⅶ-8-ⅰ-b,総論Ⅶ-8-ⅰ-c,総論Ⅶ-9-イ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_011_12/3_3限	2026/12/03	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(理工)					
授業目標	1) 根管治療に用いる器材について説明できる。 2) 矯正用材料の所要性質を説明できる。					
キーワード	仮封材、根管充填材、支台築造材料、ワイヤー					
担当	二瓶 智太郎					
学修範囲(事前事後学修)	まとめ冊子					
コアカリ(令和4年)	B-2-4,B-2-5					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-10-ⅰ,総論Ⅶ-10-ⅱ,総論Ⅶ-10-ⅲ,総論Ⅶ-10-ⅴ,総論Ⅶ-5-ⅰ-a,総論Ⅶ-5-ⅰ-b,総論Ⅶ-10-ア-a,総論Ⅶ-10-ア-b,総論Ⅶ-10-ア-c,総論Ⅶ-10-ア-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_012_12/3_4限	2026/12/03	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(理工)					
授業目標	1) 歯質接着システムに使用する処理剤の種類、作用を理解し、説明できる。 2) 歯科用CAD/CAMによる成形加工法およびジルコニアについて説明できる。					
キーワード	エナメルエッチング、リン酸、プライマー、ボンディング、樹脂含浸層、接着性モノマー、シランカップリング剤、光学カメラ、CAM、ジルコニア					
担当	二瓶 智太郎					

学修範囲(事前事後学修)	まとめ冊子
コアカリ(令和4年)	B-2-3,B-3-4
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-6-イ-b,総論Ⅶ-8-7,総論Ⅶ-8-イ-a,総論Ⅶ-8-イ-b,総論Ⅶ-8-ウ-a,総論Ⅶ-8-ウ-b,総論Ⅶ-8-ウ-c,総論Ⅶ-7-I-a,総論Ⅶ-7-I-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104.013.12/4.1限	2026/12/04	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(口腔解剖)					
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 固有口腔と口腔前庭の区分と構造を説明できる。</li> <li>2) 唾液腺と大唾液腺管開口部の構造と支配神経について説明できる。</li> <li>3) 扁桃について説明できる。</li> <li>4) 舌筋の構造と機能を説明できる。</li> <li>5) 舌骨上筋群と舌骨下筋群の構造と神経支配を説明できる。</li> <li>6) 口蓋の筋群について説明できる。</li> <li>7) 表情筋の同定・機能支配神経について説明できる。</li> <li>8) 咀嚼筋の構造と起始・停止部と支配神経について説明できる。</li> <li>9) 口腔領域を支配する脳神経について説明できる。</li> </ol>					
キーワード	固有口腔、口腔前庭、口蓋帆張筋、口蓋帆挙筋、口蓋垂筋、ワルダイエル咽頭輪(口蓋扁桃・耳管扁桃・舌扁桃・咽頭扁桃)、耳下腺/ステンセン管/耳下腺乳頭/頬筋/舌咽神経・顎下腺/ワルトン管/舌下小丘/顔面神経・舌下腺/バルトリン管/舌下小丘/顔面神経、舌骨上筋群(顎二腹筋前腹・顎舌骨筋/下顎神経・顎二腹筋後腹・茎突舌骨筋/顔面神経・オトガイ舌骨筋/舌下神経)・舌骨下筋群(胸骨舌骨筋・肩甲舌骨筋・胸骨甲状筋・甲状舌骨筋/頸神経ワナ)、内舌筋(上下縦舌筋・横舌筋・垂直舌筋)・外舌筋(オトガイ舌筋・舌骨舌筋・茎突舌筋/舌下神経)、表情筋(前頭筋・眼輪筋・口輪筋/顔面神経末梢枝)、顔面神経(茎乳突孔・内耳孔)、咀嚼筋(咬筋/頬骨弓・咬筋粗面、側頭筋/側頭窩、筋突起・外側翼突筋/蝶形骨大翼側頭下稜、関節円板、蝶形骨大翼外側板、翼突筋窩・内側翼突筋/翼突窩、上顎結節、翼突筋粗面)三叉神経(眼神経:上眼窩裂・上顎神経:正円孔・下顎神経:卵円孔)、舌咽神経、迷走神経(反回神経)、舌下神経					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	事前:2年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-5,A-2-4-6,A-3-3-1,A-3-3-2,A-3-3-3,A-3-3-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-1-ク-d,総論Ⅱ-1-ク-a,総論Ⅱ-1-ク-b,総論Ⅱ-1-ク-c,総論Ⅱ-1-ク-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b,総論Ⅱ-4-ア,総論Ⅱ-4-キ-a,総論Ⅱ-4-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104.014.12/4.2限	2026/12/04	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(口腔解剖)					
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 固有口腔と口腔前庭の区分と構造を説明できる。</li> <li>2) 唾液腺と大唾液腺管開口部の構造と機能を説明できる。</li> <li>3) 扁桃について説明できる。</li> <li>4) 舌筋の構造と機能を説明できる。</li> <li>5) 舌骨上筋群と舌骨下筋群の構造と神経支配を説明できる。</li> <li>6) 口蓋の筋群について説明できる。</li> <li>7) 表情筋の同定・機能支配神経について説明できる。</li> <li>8) 口腔領域を支配する脳神経について説明できる。</li> </ol>					
キーワード	固有口腔、口腔前庭、口蓋帆張筋、口蓋帆挙筋、口蓋垂筋、ワルダイエル咽頭輪(口蓋扁桃・耳管扁桃・舌扁桃・咽頭扁桃)、耳下腺/ステンセン管/耳下腺乳頭/頬筋/舌咽神経・顎下腺/ワルトン管/舌下小丘/顔面神経・舌下腺/バルトリン管/舌下小丘/顔面神経、舌骨上筋群(顎二腹筋前腹・顎舌骨筋/下顎神経・顎二腹筋後腹・茎突舌骨筋/顔面神経・オトガイ舌骨筋/舌下神経)・舌骨下筋群(胸骨舌骨筋・肩甲舌骨筋・胸骨甲状筋・甲状舌骨筋/頸神経ワナ)、内舌筋(上下縦舌筋・横舌筋・垂直舌筋)・外舌筋(オトガイ舌筋・舌骨舌筋・茎突舌筋/舌下神経)、表情筋(前頭筋・眼輪筋・口輪筋/顔面神経末梢枝)、顔面神経(茎乳突孔・内耳孔)、三叉神経(眼神経:上眼窩裂・上顎神経:正円孔・下顎神経:卵円孔)、舌咽神経、迷走神経(反回神経)、舌下神経					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	事前:2年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-2,A-3-2-3,A-3-2-5,A-3-2-6,A-3-2-7,A-3-2-12,A-3-2-13,A-3-2-14,A-3-2-15,A-3-2-16,A-3-3-1,A-3-3-3,A-3-3-4,A-3-3-7,A-3-3-8,A-3-3-9					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-d,必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_015_12/4_3限	2026/12/04	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(口腔解剖)					
授業目標	1) 口腔の区分と口腔内臓を説明できる。 2) 咽頭と喉頭の構造と支配神経を説明できる。 3) 扁桃の構造を説明できる。 4) 口蓋の区分と筋群と支配神経を説明できる。 5) 舌筋の構造と支配神経を説明できる。 6) 表情筋の構造を説明できる。 7) 大唾液腺と大唾液腺管と支配神経について説明できる。 8) 鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。 9) 鰓弓由来構造について説明できる。					
キーワード	固有口腔、口腔前庭、ワルダイエル咽頭輪(口蓋扁桃・耳管扁桃・舌扁桃・咽頭扁桃)、口蓋帆挙筋・口蓋帆張筋、軟口蓋、硬口蓋、茎突咽頭筋、上・中・下咽頭収縮筋、舌咽神経、咽頭神経叢、内舌筋群・外舌筋群、舌下神経、舌神経、鼓索神経、舌咽神経、表情筋(前頭筋・眼輪筋・口輪筋)、顔面神経、耳下腺(耳下腺管)、顎下腺(顎下腺管)、舌下腺(舌下腺管)、副鼻腔(前頭洞・篩骨洞・蝶形骨洞・上顎洞)、鰓弓神経・鰓弓構造					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	事前:2年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-2,A-3-2-3,A-3-2-5,A-3-2-6,A-3-2-7,A-3-2-12,A-3-2-13,A-3-2-15,A-3-2-16,A-3-3-1,A-3-3-3,A-3-3-4,A-3-3-7,A-3-3-8,A-3-3-9					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-d,必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-ウ-c,総論Ⅱ-4-ウ-d,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_016_12/4_4限	2026/12/04	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(口腔解剖)					
授業目標	1) 口腔の区分と口腔内臓を説明できる。 2) 咽頭と喉頭の構造と支配神経を説明できる。 3) 扁桃の構造を説明できる。 4) 口蓋の区分と筋群と支配神経を説明できる。 5) 舌筋の構造と支配神経を説明できる。 6) 表情筋の構造を説明できる。 7) 大唾液腺と大唾液腺管と支配神経について説明できる。 8) 鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。 9) 鰓弓由来構造について説明できる。					
キーワード	固有口腔、口腔前庭、ワルダイエル咽頭輪(口蓋扁桃・耳管扁桃・舌扁桃・咽頭扁桃)、口蓋帆挙筋・口蓋帆張筋、軟口蓋、硬口蓋、茎突咽頭筋、上・中・下咽頭収縮筋、舌咽神経、咽頭神経叢、内舌筋群・外舌筋群、舌下神経、舌神経、鼓索神経、舌咽神経、表情筋(前頭筋・眼輪筋・口輪筋)、顔面神経、耳下腺(耳下腺管)、顎下腺(顎下腺管)、舌下腺(舌下腺管)、副鼻腔(前頭洞・篩骨洞・蝶形骨洞・上顎洞)、鰓弓神経・鰓弓構造					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	事前:2年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-3-2-2,A-3-2-3,A-3-2-5,A-3-2-6,A-3-2-7,A-3-2-12,A-3-2-13,A-3-2-14,A-3-2-15,A-3-2-16,A-3-3-1,A-3-3-3,A-3-3-4,A-3-3-7,A-3-3-8,A-3-3-9					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-イ-a,総論Ⅱ-1-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-4-ウ-a,総論Ⅱ-4-ウ-b,総論Ⅱ-4-イ-a,総論Ⅱ-4-イ-b,総論Ⅱ-4-イ-c,総論Ⅱ-4-カ-a,総論Ⅱ-4-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_017_12/7_1限	2026/12/07	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(薬理)					
授業目標	1) 医薬品の分類を説明できる。 2) 毒薬、劇薬および麻薬の表示と保管が説明できる。 3) 日本薬局方を説明できる。 4) 薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。					

キーワード	生体と薬物
担 当	高橋 俊介
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料,教科書などで復習
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6
国試出題基準(令和5年)	必修2-ケ-a,総論VII-8-ア-a,総論VII-8-ア-b,総論VII-8-ア-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_018_12/7_2限	2026/12/07	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(薬理)					
授 業 目 標	5) 薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 6) 薬物の作用機序を説明できる。					
キーワード	生体と薬物					
担 当	高橋 俊介					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料,教科書などで復習					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,必修11-コ-b,必修11-コ-c,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_019_12/7_3限	2026/12/07	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(薬理)					
授 業 目 標	7) 薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。 8) 薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。					
キーワード	生体と薬物					
担 当	吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料,教科書などで復習					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_020_12/7_4限	2026/12/07	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(薬理)					
授 業 目 標	1) 確認試験 2) フィードバック 3) 追加講義					
キーワード	生体と薬物					
担 当	吉野 文彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料,教科書などで復習					
コアカリ(令和4年)	A-6-1-1,A-6-1-2,A-6-2-1,A-6-2-2,A-6-2-3,A-6-2-4,A-6-2-5,A-6-3-1,A-6-3-2,A-6-3-3,A-6-4-1,A-6-4-2,A-6-4-3,A-6-4-4,A-6-4-5,A-6-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修11-コ-a,総論VII-8-イ-a,総論VII-8-イ-b,総論VII-8-イ-c,総論VII-8-イ-d,総論VII-8-イ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

K4104_021_12/8_1限	2026/12/08	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(病理)					
授業目標	2) 口腔の腫瘍(非歯原性、非唾液腺腫瘍)および粘膜疾患の組織像を説明できる。					
キーワード	口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患、口腔粘膜疾患					
担当	窪田 展久					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 ・パーフェクトマスター病理学・口腔病理学 Chapter 13,15 事後学修 ・パーフェクトマスターおよび配付資料					
コアカリ(令和4年)	A-5-6-5,A-5-6-6,D-3-1-6-1,D-3-1-6-2,D-3-1-6-3,D-3-1-6-4,D-3-1-6-5,D-3-1-6-6					
国試出題基準(令和5年)	必修6-7-g,総論Ⅲ-1-コ-b,総論Ⅲ-1-コ-c,総論Ⅲ-1-コ-d,各論Ⅲ-1-オ-a,各論Ⅲ-1-オ-b,各論Ⅲ-1-オ-c,各論Ⅲ-1-オ-d,各論Ⅲ-1-オ-e,各論Ⅲ-1-オ-f,各論Ⅲ-1-オ-g,各論Ⅲ-1-オ-h,各論Ⅲ-1-オ-i,各論Ⅲ-1-オ-j,各論Ⅲ-1-オ-k,各論Ⅲ-1-ク-b,各論Ⅲ-1-ク-i,各論Ⅲ-1-ク-k,各論Ⅲ-1-ク-l					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_022_12/8_2限	2026/12/08	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(病理)					
授業目標	3) 歯原性腫瘍の組織像を説明できる。 4) 唾液腺疾患について説明できる。					
キーワード	歯原性良性腫瘍、唾液腺の非腫瘍性病変・腫瘍性病変					
担当	窪田 展久					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 ・パーフェクトマスター病理学・口腔病理学 Chapter 14,16 事後学修 ・パーフェクトマスターおよび配付資料					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-6-1,D-3-1-6-2,D-3-1-8-1,D-3-1-8-2,D-3-1-8-3,D-3-1-8-4,D-3-1-8-5,D-3-1-8-6,D-3-1-8-7					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-1-コ-b,各論Ⅲ-2-カ-a,各論Ⅲ-2-カ-b,各論Ⅲ-2-カ-c,各論Ⅲ-2-カ-d,各論Ⅲ-2-カ-e,各論Ⅲ-2-カ-f,各論Ⅲ-2-カ-g					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_023_12/8_3限	2026/12/08	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎歯学)					
サブユニット	生命科学(病理)					
授業目標	1) 演習問題					
キーワード	口腔病理学各論					
担当	窪田 展久					
学修範囲(事前事後学修)	事前:これまでの総合歯科学における病理学総論・各論内容の確認する。 事後:演習問題解説での不明事項を配布資料等で確認する。					
コアカリ(令和4年)	A-5-1-1,A-5-1-2,A-5-2-1,A-5-2-2,A-5-2-3,A-5-2-4,A-5-2-5,A-5-3-1,A-5-3-2,A-5-3-3,A-5-3-4,A-5-3-5,A-5-4-1,A-5-4-2,A-5-4-3,A-5-4-4,A-5-4-5,A-5-4-6,A-5-5-1,A-5-5-2,A-5-5-3,A-5-5-4,A-5-5-5,A-5-6-1,A-5-6-2,A-5-6-3,A-5-6-4,A-5-6-5,A-5-6-6,D-3-1-4-1,D-3-1-4-2,D-3-1-5-1,D-3-1-5-2,D-3-1-6-1,D-3-1-6-2,D-3-1-6-3,D-3-1-6-4,D-3-1-6-5,D-3-1-6-6,D-3-1-8-1,D-3-1-8-2,D-3-1-8-3,D-3-1-8-4,D-3-1-8-5,D-3-1-8-6,D-3-1-8-7					
国試出題基準(令和5年)	必修6-7-b,必修6-7-c,必修6-7-d,必修6-7-f,必修6-7-g,必修6-7-h,必修6-7-i,必修6-7-k,必修6-7-m,必修6-7-n,総論Ⅲ-1-ケ-a,総論Ⅲ-1-ケ-c,総論Ⅲ-1-ケ-b,総論Ⅲ-1-コ-b,総論Ⅲ-1-イ-a,総論Ⅲ-1-イ-b,総論Ⅲ-1-オ-a,総論Ⅲ-1-オ-b,総論Ⅲ-1-ウ-a,総論Ⅲ-1-ウ-b,総論Ⅲ-1-ウ-c,総論Ⅲ-1-カ-a,総論Ⅲ-1-カ-b,総論Ⅲ-1-コ-a,総論Ⅲ-1-コ-c,総論Ⅲ-1-コ-d,総論Ⅲ-1-コ-e,総論Ⅲ-1-エ-a,総論Ⅲ-1-エ-b,総論Ⅲ-1-エ-c,総論Ⅲ-1-エ-d,総論Ⅲ-1-ケ-a,総論Ⅲ-1-ケ-b,総論Ⅲ-1-ケ-c,各論Ⅲ-2-オ-a,各論Ⅲ-2-オ-b,各論Ⅲ-1-イ-a,各論Ⅲ-1-イ-b,各論Ⅲ-1-オ-a,各論Ⅲ-1-オ-b,各論Ⅲ-1-オ-c,各論Ⅲ-1-オ-d,各論Ⅲ-1-オ-e,各論Ⅲ-1-オ-f,各論Ⅲ-1-オ-g,各論Ⅲ-1-オ-h,各論Ⅲ-1-オ-i,各論Ⅲ-1-オ-j,各論Ⅲ-1-オ-k,各論Ⅲ-2-カ-a,各論Ⅲ-2-カ-b,各論Ⅲ-2-カ-c,各論Ⅲ-2-カ-d,各論Ⅲ-2-カ-e,各論Ⅲ-2-カ-f,各論Ⅲ-2-カ-g					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_024_12/8_4限	2026/12/08	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(基礎医学)					

サブユニット	発生学
授業目標	1) 口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。
キーワード	組織・器官の発生
担当	猿田 樹理
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習
コアカリ(令和4年)	A-2-4-2,A-2-4-3,A-2-4-4,A-2-4-5
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-b,総論Ⅱ-8-ア-a,総論Ⅱ-8-ア-b,総論Ⅱ-8-ア-c,総論Ⅱ-8-イ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_025_12/9_1限	2026/12/09	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	矯正歯科学					
授業目標	1) 演習問題を回答できる。 2) ポリゴン表を理解できる。 3) 矯正装置の種類と作用を説明できる。					
キーワード	骨格分類、骨格性上顎前突の治療方針と装置、骨格性反対咬合の治療方針と装置、ヘッドギア、オトガイ帽装置					
担当	中丸 正貴					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅰ-6-Ⅰ,各論Ⅰ-9-Ⅰ-a,各論Ⅰ-9-Ⅰ-b,各論Ⅰ-9-Ⅰ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_026_12/9_2限	2026/12/09	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	矯正歯科学					
授業目標	1) 矯正装置の種類と作用を説明できる。					
キーワード	上顎前方牽引装置、機能的反対咬合、アクチバートル					
担当	中丸 正貴					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅰ-9-Ⅰ-c,各論Ⅰ-9-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_027_12/9_3限	2026/12/09	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	インプラント					
授業目標	適応症、骨結合(osseointegration)の概念、診察・検査・診断・治療計画を説明できる。					
キーワード	適応症、骨結合(osseointegration)、診察・検査・診断・治療計画					
担当	山本 麻衣子					
学修範囲(事前事後学修)	事前:3年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	B-2-6.D-5-3-3-1,D-5-3-3-2,D-5-3-3-3,E-2-2-1,E-2-2-2,E-2-2-3,E-2-2-4,E-2-2-5					
国試出題基準(令和5年)	必修11-s-a,各論Ⅳ-6-ア-a,各論Ⅳ-6-ア-b,各論Ⅳ-6-ア-c,各論Ⅳ-6-Ⅰ-a,各論Ⅳ-6-Ⅰ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

K4104_028_12/9_4限	2026/12/09	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	インプラント					
授業目標	手術方法、器具、手術併発症について説明できる。					
キーワード	手術方法、器具、手術併発症					
担当	山本 麻衣子					
学修範囲(事前事後学修)	事前:3年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-3-2,D-5-3-3-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-セ-j,各論IV-6-ウ-a,各論IV-6-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_029_12/10_1限	2026/12/10	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	顎顔面領域の成長・発育(矯正)					
授業目標	1) 矯正力・固定を説明できる。					
キーワード	矯正力の種類、力の作用様式、歯の移動様式、矯正力における生体反応、矯正治療によって生じうる医原性障害、固定の種類					
担当	石井 貴和					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I -9-I-b,各論 I -9-オ-c,各論 I -9-カ-a,各論 I -9-カ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_030_12/10_2限	2026/12/10	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	顎顔面領域の成長・発育(矯正)					
授業目標	2) 矯正装置の種類と用途を説明できる。					
キーワード	舌側弧線装置、Tooth positioner、オーラルスクリーン、エッジワイズ装置、Ⅱ級アクチバートル、(顎外固定装置)ヘッドギア、オトガイ帽装置、上顎前方牽引装置、スライディングプレート、Ⅲ級アクチバートル、Bimlarビムラーのアダプター、バイオネーター、フレンチケル装置、咬合斜面板、咬合挙上板、切歯斜面板、リップバンパー、拡大床、コフィンの拡大装置、クワドヘリックス・バイヘリックス、急速拡大装置					
担当	石井 貴和					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-3,D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-10-I,総論Ⅶ-10-ウ,各論 I -10-オ,総論Ⅶ-10-ア-a,総論Ⅶ-10-ア-b,総論Ⅶ-10-ア-c,総論Ⅶ-10-ア-d,各論 I -9-ア-a,各論 I -9-ア-b,各論 I -9-ア-c,各論 I -9-ア-d,各論 I -9-イ-a,各論 I -9-イ-b,各論 I -9-イ-c,各論 I -9-ウ,各論 I -9-エ-a,各論 I -9-エ-b,各論 I -9-オ-a,各論 I -9-オ-b,各論 I -9-オ-c,各論 I -9-オ-d,各論 I -9-キ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_031_12/10_3限	2026/12/10	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	顎顔面領域の成長・発育(矯正)					
授業目標	3) 不正咬合の診断について説明できる。 4) 保定について説明できる。 5) 確認試験(単問、連問) 6) フィードバック					

キーワード	ポリゴン表の読み方、骨格分類(Ballardの分類)、叢生、骨格性反対咬合、機能性反対咬合、歯槽性反対咬合、骨格性上顎前突、機能性上顎前突、歯槽性上顎前突、成長期の治療、ホーレイタイプ保定床装置(Hawley type Retainer)、ベッグタイプ保定床装置(Begg type Retainer)(ラップアラウンドリテーナー、サーカムフェレンシヤルタイプ)トウースポジショナー(Tooth positioner)、犬歯間固定装置(canine to canine fix retainer)、ツイストワイヤーのレジン接着、パーとスパーによる保定装置、舌側弧線装置、ヘッドギヤー、再発防止策
担当	石井 貴和
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習
コアカリ(令和4年)	A-2-4-6
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-8-I-a,総論Ⅱ-8-I-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_032_12/11_1限	2026/12/11	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	インプラント					
授業目標	補綴装置製作について説明できる。					
キーワード	補綴装置					
担当	山本 麻衣子					
学修範囲(事前事後学修)	事前:3年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-3-5,D-5-3-3-6,D-5-3-3-7					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅳ-6-ウ-c,各論Ⅳ-6-ウ-d,各論Ⅳ-6-ウ-e,各論Ⅳ-6-ウ-f,各論Ⅳ-6-ウ-g,各論Ⅳ-6-I-a,各論Ⅳ-6-I-b,各論Ⅳ-6-I-c,各論Ⅳ-6-I-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_033_12/11_2限	2026/12/11	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	インプラント					
授業目標	メンテナンス、リスクについて説明できる					
キーワード	メンテナンス、リスク					
担当	山本 麻衣子					
学修範囲(事前事後学修)	事前:3年生講義内容 事後:講義内容					
コアカリ(令和4年)	B-2-6,D-5-3-3-2,D-5-3-3-3,D-5-3-3-8					
国試出題基準(令和5年)	必修11-s-a,各論Ⅳ-6-ア-a,各論Ⅳ-6-ア-b,各論Ⅳ-6-ア-c,各論Ⅳ-8-オ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_034_12/11_3限	2026/12/11	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	インプラント					
授業目標	インプラントの基礎、適応症、利点・欠点、外科について説明できる。					
キーワード	骨結合(osseointegration)、成功基準、適応症、ブリッジや義歯との比較、埋入手術、アパットメント連結手術、インプラント関連手術					
担当	山本 麻衣子					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-3-1,D-5-3-3-2,D-5-3-3-3,D-5-3-3-4					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅳ-6-ア-a,各論Ⅳ-6-ア-b,各論Ⅳ-6-ア-c,各論Ⅳ-6-イ-a,各論Ⅳ-6-イ-b,各論Ⅳ-6-ウ-a,各論Ⅳ-6-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------



サブユニット	歯質欠損の診断と治療(修復)
授業目標	9) 深在性齲蝕の歯髄保護 10) AIPC 11) 臼歯コンポジットレジンの有用性 12) 補修修復 13) 根面齲蝕への対応が行える。
キーワード	診察の基本、口腔・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、歯科医療の展開
担当	椎谷 亨
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料,教科書などで復習
コアカリ(令和4年)	D-3-2-1,D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4,D-5-2-1-5,D-5-2-1-6,D-5-2-1-7,D-5-2-1-8,E-5-3-1-1,E-5-3-1-2,E-5-3-1-3,E-5-3-1-4,E-5-3-1-5,E-5-3-1-6,E-5-3-1-7,E-5-3-1-8
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅱ-1-イ-a,各論Ⅱ-1-イ-b,各論Ⅱ-1-イ-c,各論Ⅱ-1-イ-d,各論Ⅱ-1-イ-e,各論Ⅱ-1-ウ-a,各論Ⅱ-1-ウ-b,各論Ⅱ-1-ウ-c,各論Ⅱ-1-ウ-d,各論Ⅱ-1-ウ-e,各論Ⅱ-1-ウ-f

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_039_12/14_4限	2026/12/14	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損の診断と治療(修復)					
授業目標	1) 確認試験 2) フィードバック 3) 追加講義					
キーワード	診察の基本、口腔・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、歯科医療の展開					
担当	椎谷 亨					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料,教科書などで復習					
コアカリ(令和4年)	D-3-2-1,D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4,D-5-2-1-5,D-5-2-1-6,D-5-2-1-7,D-5-2-1-8,E-5-3-1-1,E-5-3-1-2,E-5-3-1-3,E-5-3-1-4,E-5-3-1-5,E-5-3-1-6,E-5-3-1-7,E-5-3-1-8					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-c,各論Ⅱ-1-ア-d,各論Ⅱ-1-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-f,各論Ⅱ-1-イ-a,各論Ⅱ-1-イ-b,各論Ⅱ-1-イ-c,各論Ⅱ-1-イ-d,各論Ⅱ-1-イ-e,各論Ⅱ-1-ウ-a,各論Ⅱ-1-ウ-b,各論Ⅱ-1-ウ-c,各論Ⅱ-1-ウ-d,各論Ⅱ-1-ウ-e,各論Ⅱ-1-ウ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_040_12/15_1限	2026/12/15	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損の診断と治療(歯内)					
授業目標	1) 外科的歯内療法の種類と適応を説明できる。歯内歯周疾患の種類、診断、処置が説明できる。					
キーワード	診療の基本、基本的診察・診断、歯と歯周組織の疾患の特徴と病因、歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療					
担当	室町 幸一郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料や教科書で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-2-5					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-2-ア-c,各論Ⅱ-2-イ-g					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_041_12/15_2限	2026/12/15	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損の診断と治療(歯内)					
授業目標	2) 歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症(偶発症)について、種類、処置および予防を説明できる。 3) 歯根吸収の原因、症状、診断、処置を説明できる。					
キーワード	診療の基本、基本的診察・診断、歯と歯周組織の疾患の特徴と病因、歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療					
担当	室町 幸一郎					

学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料や教科書で復習
コアカリ(令和4年)	D-5-2-2-3
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-2-4-j

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_042_12/15_3限	2026/12/15	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損の診断と治療(歯内)					
授業目標	4) 失活歯の変色の原因と処置を説明できる。歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。					
キーワード	診療の基本、基本的診察・診断、歯と歯周組織の疾患の特徴と病因、歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療					
担当	室町 幸一郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料や教科書で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-2-6,D-5-2-2-7					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-2-7-e,各論Ⅱ-2-4-h					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_043_12/15_4限	2026/12/15	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損の診断と治療(歯内)					
授業目標	5) 失活歯の歯根破折の原因、症状、診断及び処置を説明できる。歯の外傷の種類、診断、処置が説明できる。 6) フィードバック 7) 追加講義					
キーワード	診療の基本、基本的診察・診断、歯と歯周組織の疾患の特徴と病因、歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療					
担当	室町 幸一郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料や教科書で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-2-8					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-2-7-d,各論Ⅱ-2-4-i					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_044_12/16_1限	2026/12/16	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯周組織の疾患の診断と治療(歯周)					
授業目標	1) 歯内—歯周疾患の成立機序と治療法を説明できる 2) 歯周外科治療に関し説明できる					
キーワード	診察の基本、口腔・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、歯科医療の展開					
担当	鎌田 要平					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料、教科書で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-2,D-5-2-3-3,D-5-2-3-4,D-5-2-3-5					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅷ-11-I,総論Ⅷ-11-オ,総論Ⅵ-1-7-c,総論Ⅶ-2-7-c,各論Ⅱ-3-ウ-d,各論Ⅱ-3-ウ-e,各論Ⅱ-3-ウ-f,各論Ⅱ-2-7-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_045_12/16_2限	2026/12/16	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					

サブユニット	歯周組織の疾患の診断と治療(歯周)
授業目標	2) 歯周外科治療に関し説明できる。 3) 根分岐部病変の治療を説明できる。
キーワード	診察の基本、口腔・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、歯科医療の展開
担当	鎌田 要平
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料、教科書で復習
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4,D-5-2-3-5
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-11-エ,総論Ⅶ-11-オ,総論Ⅶ-2-ア-c,各論Ⅱ-3-ウ-d,各論Ⅱ-3-ウ-e,各論Ⅱ-3-ウ-f,各論Ⅱ-3-ウ-g

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_046_12/16_3限	2026/12/16	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯周組織の疾患の診断と治療(歯周)					
授業目標	3) 根分岐部病変の治療を説明できる。 4) メンテナンス治療に関し説明できる。					
キーワード	診察の基本、口腔・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、歯科医療の展開					
担当	鎌田 要平					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料、教科書で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4,D-5-2-3-5					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅳ-2-イ,総論Ⅶ-2-ア-c,各論Ⅱ-3-ウ-g,各論Ⅱ-3-ウ-h,各論Ⅱ-3-ウ-j					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_047_12/16_4限	2026/12/16	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯周組織の疾患の診断と治療(歯周)					
授業目標	*1-4限適宜1)-4)について練習問題					
キーワード	診察の基本、口腔・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、歯科医療の展開					
担当	鎌田 要平					
学修範囲(事前事後学修)	事前:講義内容を復習 事後:解説内容を復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-2-3-4,D-5-2-3-5					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-2-ア-b,総論Ⅶ-2-ア-b,総論Ⅶ-2-ア-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_048_12/17_1限	2026/12/17	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損と歯の欠損の診断と治療(Cr-Br)					
授業目標	1) 研究用模型と作業用模型について説明できる。 2) 平均値および調節性咬合器について説明できる。					
キーワード	研究用模型、作業用模型、ガム模型、平均値咬合器、半調節性咬合器、全調節性咬合器					
担当	川西 範繁					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-10,D-5-3-1-11					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-ウ-a,各論Ⅳ-2-エ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_049_12/17_2限	2026/12/17	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損と歯の欠損の診断と治療(Cr-Br)					
授業目標	3) クラウンブリッジに装着に関する材料について説明できる。 4) メンテナンスについて説明できる。					
キーワード	接着性セメント、合着用セメント、メンテナンス					
担当	川西 範繁					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-12,D-5-3-1-13					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅷ-9-ア-a,総論Ⅷ-9-ア-b,総論Ⅷ-9-ア-c,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-イ-h,各論Ⅳ-3-イ-i,各論Ⅳ-3-イ-j					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_050_12/17_3限	2026/12/17	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損と歯の欠損の診断と治療(Cr-Br)					
授業目標	5) 有歯顎の咬合について説明できる。					
キーワード	下顎運動、下顎位					
担当	川西 範繁					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-1,D-5-3-1-2,D-5-3-1-3,D-5-3-1-4,D-5-3-1-5,D-5-3-1-6,D-5-3-1-7,D-5-3-1-8,D-5-3-1-9,D-5-3-1-10,D-5-3-1-11,D-5-3-1-12,D-5-3-1-13					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-6-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_051_12/17_4限	2026/12/17	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯質欠損と歯の欠損の診断と治療(Cr-Br)					
授業目標	1) 確認試験 2) フィードバック 3) 追加講義					
キーワード	診察の基本、口腔・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、歯科医療の展開					
担当	川西 範繁					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で学習 事後:配布資料で学習					
コアカリ(令和4年)	D-5-1-1,D-5-1-2,D-5-1-3,D-5-1-4,D-5-1-5,D-5-1-6,D-5-1-7,D-5-2-1-1,D-5-2-1-2,D-5-2-1-3,D-5-2-1-4,D-5-2-1-5,D-5-2-1-6,D-5-2-1-7,D-5-2-1-8,D-5-2-2-1,D-5-2-2-2,D-5-2-2-3,D-5-2-2-4,D-5-2-2-5,D-5-2-2-6,D-5-2-2-7,D-5-2-2-8,D-5-2-3-1,D-5-2-3-2,D-5-2-3-3,D-5-2-3-4,D-5-2-3-5,D-5-3-1-1,D-5-3-1-2,D-5-3-1-3,D-5-3-1-4,D-5-3-1-5,D-5-3-1-6,D-5-3-1-7,D-5-3-1-8,D-5-3-1-9,D-5-3-1-10,D-5-3-1-11,D-5-3-1-12,D-5-3-1-13,D-5-3-2-1,D-5-3-2-2,D-5-3-2-3,D-5-3-2-4,D-5-3-2-5,D-5-3-2-6,D-5-3-2-7,D-5-3-2-8,D-5-3-2-9,D-5-3-2-10,D-5-3-2-11,D-5-3-2-12,D-5-3-2-13,D-5-3-3-1,D-5-3-3-2,D-5-3-3-3,D-5-3-3-4,D-5-3-3-5,D-5-3-3-6,D-5-3-3-7,D-5-3-3-8,D-5-4-1,D-5-4-2,D-5-4-3,D-5-4-4,D-5-4-5,D-5-4-6,D-5-5-1,D-5-5-2,D-5-5-3,D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6,D-5-6-1,D-5-6-2,D-5-6-3,D-5-6-4,D-5-6-5,D-5-6-6,D-5-6-7,D-5-6-8,D-5-6-9,D-5-6-10,D-5-7-1,D-5-7-2,D-5-7-3,D-5-7-4,D-5-7-5,D-5-7-6,D-5-7-7,D-5-7-8,D-5-7-9,D-5-7-10,D-5-8-1,D-5-8-2,D-5-8-3,D-5-8-4,D-5-8-5,D-5-9-1,D-5-9-2,D-5-9-3,D-5-9-4,D-5-9-5,D-5-9-6,D-5-9-7					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-9-ア-a,総論Ⅶ-9-ア-b,総論Ⅶ-9-ア-c,総論Ⅱ-6-イ-a,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-イ-h,各論Ⅳ-3-イ-i,各論Ⅳ-3-イ-j,各論Ⅳ-3-ウ-a,各論Ⅳ-2-イ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_052_12/18_1限	2026/12/18	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯の欠損の診断と治療(全部床)					
授業目標	1) 全部床義歯の埋没・重合・研磨について説明できる。					
キーワード	埋没、流涎、レジン埋入、重合					
担当	岩下 英夫					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料、教科書で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-5-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_053_12/18_2限	2026/12/18	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯の欠損の診断と治療(全部床)					
授業目標	2) 全部床義歯の咬合調整について説明できる。					
キーワード	リマウント、咬合調整					
担当	岩下 英夫					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料、教科書で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-8,D-5-3-2-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-5-ウ-d,各論Ⅳ-5-ウ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_054_12/18_3限	2026/12/18	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯の欠損の診断と治療(全部床)					
授業目標	3) 全部床義歯装着管理法について説明できる。					

キーワード	装着、予後
担当	岩下 英夫
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料、教科書で復習
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-10,D-5-3-2-11
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論VII-2-ア-d,各論IV-5-イ-e

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_055_12/18_4限	2026/12/18	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯の欠損の診断と治療(全部床)					
授業目標	1) 確認試験 2) フィードバック 3) 追加講義					
キーワード	診察の基本、口腔・顎顔面領域の常態と疾患、歯と歯周組織の常態と疾患、歯科医療の展開					
担当	岩下 英夫					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料、教科書で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-1,D-5-3-2-2,D-5-3-2-3,D-5-3-2-4,D-5-3-2-5,D-5-3-2-6,D-5-3-2-7,D-5-3-2-8,D-5-3-2-9,D-5-3-2-10,D-5-3-2-11,D-5-3-2-12,D-5-3-2-13					
国試出題基準(令和5年)	各論IV-5-ア-a,各論IV-5-ア-b,各論IV-5-イ-a,各論IV-5-イ-b,各論IV-5-イ-c,各論IV-5-イ-d,各論IV-5-イ-e,各論IV-5-ウ-a,各論IV-5-ウ-b,各論IV-5-ウ-c,各論IV-5-ウ-d,各論IV-5-ウ-e,各論IV-8-イ,各論IV-8-オ-b,各論IV-8-オ-c,各論IV-8-オ-d,各論IV-8-オ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_056_12/21_1限	2026/12/21	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	顎顔面領域の成長・発育(小児)					
授業目標	13) 乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を理解している。 14) 乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査及び診断を理解している。 15) 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を理解している。					
キーワード	フッ化物応用法、乳歯既製金属冠、レジン修復					
担当	横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書,講義時配付資料で予習 事後:教科書,配布時資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-1,D-5-6-2,D-5-6-3,D-5-6-4					
国試出題基準(令和5年)	各論II-3-I-a,各論II-3-I-b,各論II-1-I-a,各論II-1-I-b,各論II-1-I-c,各論II-1-I-d,各論II-2-ウ-a,各論II-2-ウ-b,各論II-2-ウ-c,各論II-2-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_057_12/21_2限	2026/12/21	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	顎顔面領域の成長・発育(小児)					
授業目標	16) 乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査、診断及び治療法を理解している。 17) 小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を理解している。					
キーワード	乳歯の歯髄疾患、アペキシフィケーション、アペキソゲネーシス					
担当	横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書,講義時配付資料で予習 事後:教科書,配布時資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-4,D-5-6-5,D-5-6-6					
国試出題基準(令和5年)	各論II-1-I-a,各論II-1-I-b,各論II-1-I-c,各論II-1-I-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_058_12/21_3限	2026/12/21	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	顎顔面領域の成長・発育(小児)					
授業目標	18) 小児の歯の外傷の診察、検査、診断、処置法及び予後を理解している。 19) 小児の粘膜疾患の診察、検査、診断及び処置法を理解している。					
キーワード	乳歯の外傷、永久歯の外傷、小帯の異常、舌の異常					
担当	横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書,講義時配付資料で予習 事後:教科書,配布時資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-6,D-5-6-7					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-4-ア-a,各論 I-4-ア-b,各論 I-4-イ,各論 I-4-ウ,各論 I-4-エ,各論 I-4-オ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_059_12/21_4限	2026/12/21	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	顎顔面領域の成長・発育(小児)					
授業目標	20) 静的(受動的)及び動的(能動的)咬合誘導の概念と歯列、咬合の正常発育を阻害する因子を理解している。 21) 保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計と製作法を理解している。 22) 小児の虐待の徴候と身体的所見を理解している。					
キーワード	保隙装置、スペースリテーナー、虐待					
担当	横山 三菜					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書,講義時配付資料で予習 事後:教科書,配布時資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-6-8,D-5-6-9,D-5-6-10					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-3-ア-a,各論 I-3-ア-b,各論 I-3-ア-c,各論 I-3-ア-d,各論 I-3-ア-e,各論 I-3-イ-a,各論 I-3-イ-b,各論 I-3-イ-c,各論 I-3-イ-d,各論 I-3-イ-e, 各論 I-3-ウ-a,各論 I-3-ウ-b,各論 I-3-ウ-c,各論 I-3-ウ-d,各論 I-3-ウ-e,各論 I-3-エ-a,各論 I-3-エ-b,各論 I-3-エ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_060_12/22_1限	2026/12/22	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯の欠損の診断と治療(部分床)					
授業目標	1) 連結装置について説明できる。 2) 義歯床について説明できる。 3) 模型の処置について説明できる。 4) 金属床の構造、フレームワーク製作について説明できる。					
キーワード	連結装置、大連結子(パラタルバー・ストラップ・プレート、リンガルバー・リンガルプレート・Kennedyバー・外側バー)、小連結子、義歯床(金属床・レジン床)、模型の処置(ブロックアウト・リリーフ)、金属床の構造(ピーディング・ティッシュストップ・フィニッシュライン)、フレームワーク					
担当	濱野 奈穂					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書,部分床義歯学講義ノートで予習 事後:配布資料,教科書などで復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-3,D-5-3-2-4,D-5-3-2-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論VII-2-ア-d,各論IV-4-ア-a,各論IV-4-ア-b,各論IV-4-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_061_12/22_2限	2026/12/22	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯の欠損の診断と治療(部分床)					

授業目標	5) 部分床義歯の診療および製作法の流れについて説明できる。 6) 前処置について説明できる。 7) 義歯の設計原則について説明できる。
キーワード	部分床義歯の診療・製作法の流れ、前処置、義歯の設計
担当	濱野 奈穂
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書,部分床義歯学講義ノートで予習 事後:配布資料,教科書などで復習
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-2,D-5-3-2-3,D-5-3-2-4,D-5-3-2-5,D-5-3-2-8,D-5-3-2-10
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論VII-2-ア-d,各論IV-4-ア-a,各論IV-4-ア-b,各論IV-4-イ-a,各論IV-4-イ-b,各論IV-4-イ-c,各論IV-4-イ-d,各論IV-4-イ-e,各論IV-4-ウ-a,各論IV-4-ウ-b,各論IV-4-ウ-c,各論IV-4-ウ-d,各論IV-4-ウ-e,各論IV-4-ウ-f,各論IV-4-ウ-g,各論IV-2-イ-g

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_062_12/22_3限	2026/12/22	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯の欠損の診断と治療(部分床)					
授業目標	8) 部分床義歯の印象採得について説明できる。 9) 部分床義歯の咬合採得について説明できる。 10) 部分床義歯のろう義歯試適について説明できる。 11) 部分床義歯の装着について説明できる。					
キーワード	解剖学的印象・機能印象、弾性・非弾性印象材、単一・連合印象材、概形印象・精密印象、オルタードキャスト法、ダイナミック印象、咬合採得(仮想咬合平面、フェイスボウトランスファー、垂直・水平的顎位、標示線など)、ろう義歯試適、義歯装着					
担当	濱野 奈穂					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書,部分床義歯学講義ノートで予習 事後:配布資料,教科書などで復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-4,D-5-3-2-5,D-5-3-2-7,D-5-3-2-8,D-5-3-2-9,D-5-3-2-10					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,必修11-セ-c,総論VIII-3-ア-a,総論VIII-3-ア-b,総論VIII-3-ア-c,総論VIII-3-イ-a,総論VIII-3-イ-b,総論VIII-3-イ-c,総論VIII-3-イ-d,総論VIII-3-ウ,総論VIII-3-エ,総論VIII-3-オ,総論VII-2-ア-d,各論IV-4-イ-b,各論IV-4-イ-c,各論IV-4-イ-d,各論IV-4-イ-e,各論IV-4-ウ-a,各論IV-4-ウ-b,各論IV-4-ウ-e,各論IV-4-ウ-f,各論IV-4-ウ-g,各論IV-8-ア,各論IV-8-イ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_063_12/22_4限	2026/12/22	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯の欠損の診断と治療(部分床)					
授業目標	12) 部分床義歯装着後のメンテナンスについて説明できる。 13) 部分床義歯のリラインと修理について説明できる。 14) 確認試験 15) フィードバック					
キーワード	装着後のメンテナンス、リライン、義歯修理					
担当	濱野 奈穂					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書,部分床義歯学講義ノートで予習 事後:配布資料,教科書などで復習					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-2-10,D-5-3-2-11,D-5-3-2-12					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論VII-2-ア-d,各論IV-8-イ,各論IV-8-オ-a,各論IV-8-オ-b,各論IV-8-オ-c,各論IV-8-オ-d,各論IV-8-オ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_064_12/23_1限	2026/12/23	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	口唇、口腔、顎顔面領域の疾患					
授業目標	1) 口腔、顎顔面領域の炎症の特徴と病因および診断と治療の基本的概念を理解する。 2) 口腔、顎顔面領域の神経疾患の特徴と病因および診断と治療の基本的概念を理解する。 3) 口腔、顎顔面領域の慢性的痛みの原因、症状および治療法を理解している。					
キーワード	炎症、神経疾患、慢性疼痛、三叉神経痛					



授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_068_12/24_1限	2026/12/24	1		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯科麻酔の基本救急処置(麻酔)					
授業目標	1) バイタルサインを列挙し、測定方法について説明できる。 2) 全身麻酔に使用する薬剤を列挙し、その特徴を説明できる。 3) 全身麻酔に使用する器具を列挙し、その使用法を説明できる。					
キーワード	バイタルサイン、意識、呼吸、脈拍、血圧、パルスオキシメータ、吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、筋弛緩薬、麻薬性鎮痛薬、喉頭鏡、ソーダライム、					
担当	今泉 うの					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,D-1-2-1-1,D-1-2-1-2,D-1-2-1-3,D-1-2-1-4,D-1-2-1-5,D-1-2-2-1,D-1-2-2-2,D-1-2-2-3,D-1-2-2-4,D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3,E-1-2-1,E-1-2-2,E-1-3-1,E-1-3-2,E-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修7-ア-a,必修8-I-a,必修8-I-b,必修8-I-c,必修8-I-d,必修10-ア-a,必修10-ア-b,必修10-I-a,必修10-I-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_069_12/24_2限	2026/12/24	2		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯科麻酔の基本救急処置(麻酔)					
授業目標	4) 全身麻酔の合併症について説明できる。 5) 精神鎮静法の種類、特徴およびその適応と禁忌について説明できる。 6) 精神鎮静法に使用する薬剤を列挙し、その特徴を説明できる。					
キーワード	悪性高熱症、肺血栓塞栓症、亜酸化窒素吸入鎮静法、静脈内鎮静法					
担当	今泉 うの					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,D-1-2-1-1,D-1-2-1-2,D-1-2-1-3,D-1-2-1-4,D-1-2-1-5,D-1-2-2-1,D-1-2-2-2,D-1-2-2-3,D-1-2-2-4,D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3,E-1-2-1,E-1-2-2,E-1-3-1,E-1-3-2,E-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修7-ア-a,必修8-I-a,必修8-I-b,必修8-I-c,必修8-I-d,必修10-ア-a,必修10-ア-b,必修10-I-a,必修10-I-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
K4104_070_12/24_3限	2026/12/24	3		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯科麻酔の基本救急処置(麻酔)					
授業目標	1) 一次救急処置について説明できる。 2) 局所麻酔薬を分類し、その特徴と投与方法を説明できる。 3) 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 4) 血管収縮薬添加歯科用局所麻酔薬投与後の全身的、局所的合併症を説明できる。 5) 星状神経節ブロックについて適応や方法、偶発症を説明できる。					
キーワード	BLS、胸骨圧迫、人工呼吸、AED、アミド型局所麻酔薬、エステル型局所麻酔薬、アドレナリン、フェリプレシン、浸潤麻酔、伝達麻酔、星状神経節ブロック、局所麻酔薬中毒					
担当	黒田 英孝					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,D-1-2-1-1,D-1-2-1-2,D-1-2-1-3,D-1-2-1-4,D-1-2-1-5,D-1-2-2-1,D-1-2-2-2,D-1-2-2-3,D-1-2-2-4,D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3,E-1-2-1,E-1-2-2,E-1-3-1,E-1-3-2,E-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修7-ア-a,必修8-I-a,必修8-I-b,必修8-I-c,必修8-I-d,必修10-ア-a,必修10-ア-b,必修10-I-a,必修10-I-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

K4104_071_12/24_4限	2026/12/24	4		講義	12番教室	60
ユニット	総合歯科学(臨床歯学)					
サブユニット	歯科麻酔の基本 救急処置(麻酔)					
授業目標	6) 歯科治療時に起こり得る偶発症について列挙し、その特徴や対処法を説明できる。 7) 歯科治療時に注意を要する全身疾患を列挙し、歯科治療時の対応について説明できる。 8) 確認試験 9) フィードバック					
キーワード	血管迷走神経反射、過換気症候群、メトヘモグロビン血症、アナフィラキシーショック、気管支喘息、高血圧症、狭心症、心筋梗塞、仰臥位低血圧症候群					
担当	黒田 英孝					
学修範囲(事前事後学修)	事前:教科書で予習 事後:配布資料で復習					
コアカリ(令和4年)	D-1-1-1,D-1-1-2,D-1-1-3,D-1-2-1-1,D-1-2-1-2,D-1-2-1-3,D-1-2-1-4,D-1-2-1-5,D-1-2-2-1,D-1-2-2-2,D-1-2-2-3,D-1-2-2-4,D-1-2-3-1,D-1-2-3-2,D-1-2-3-3,E-1-2-1,E-1-2-2,E-1-3-1,E-1-3-2,E-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修7-ア-a,必修8-I-a,必修8-I-b,必修8-I-c,必修8-I-d,必修10-ア-a,必修10-ア-b,必修10-I-a,必修10-I-b					